

# 2017年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2016年10月31日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2016年10月31日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2017年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- II .2017年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2017年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





# 2017年3月期第2四半期 連結決算ハイライト

## 2017年3月期第2四半期(2016/7-9) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は、前四半期に続き円高相場に伴う新規参入顧客の増加に伴い堅調に増加。預り証拠金は、円高水準の相場継続に伴い増加ペースは鈍く2.6%の増加にとどまる。

総口座数	286,494口座	2017/3期1Q末比	2.0%増
預り証拠金	58,608百万円	2017/3期1Q末比	2.6%増

- ② 外国為替取引高は、8月以降の外国為替相場の状況、損益の状況が個人投資家の投資意欲に悪影響を与え、前四半期比6.0%減少。

7-9月取引高	2,119億通貨単位	2016/4-6月比	6.0%減
---------	------------	------------	-------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、受入手数料、その他の売上高が増加した一方、FX関連の収益であるトレーディング損益が減少したことにより前四半期12.0%減少の1,479百万円に。これにつれて経常利益も前四半期比43.9%減少の245百万円に。

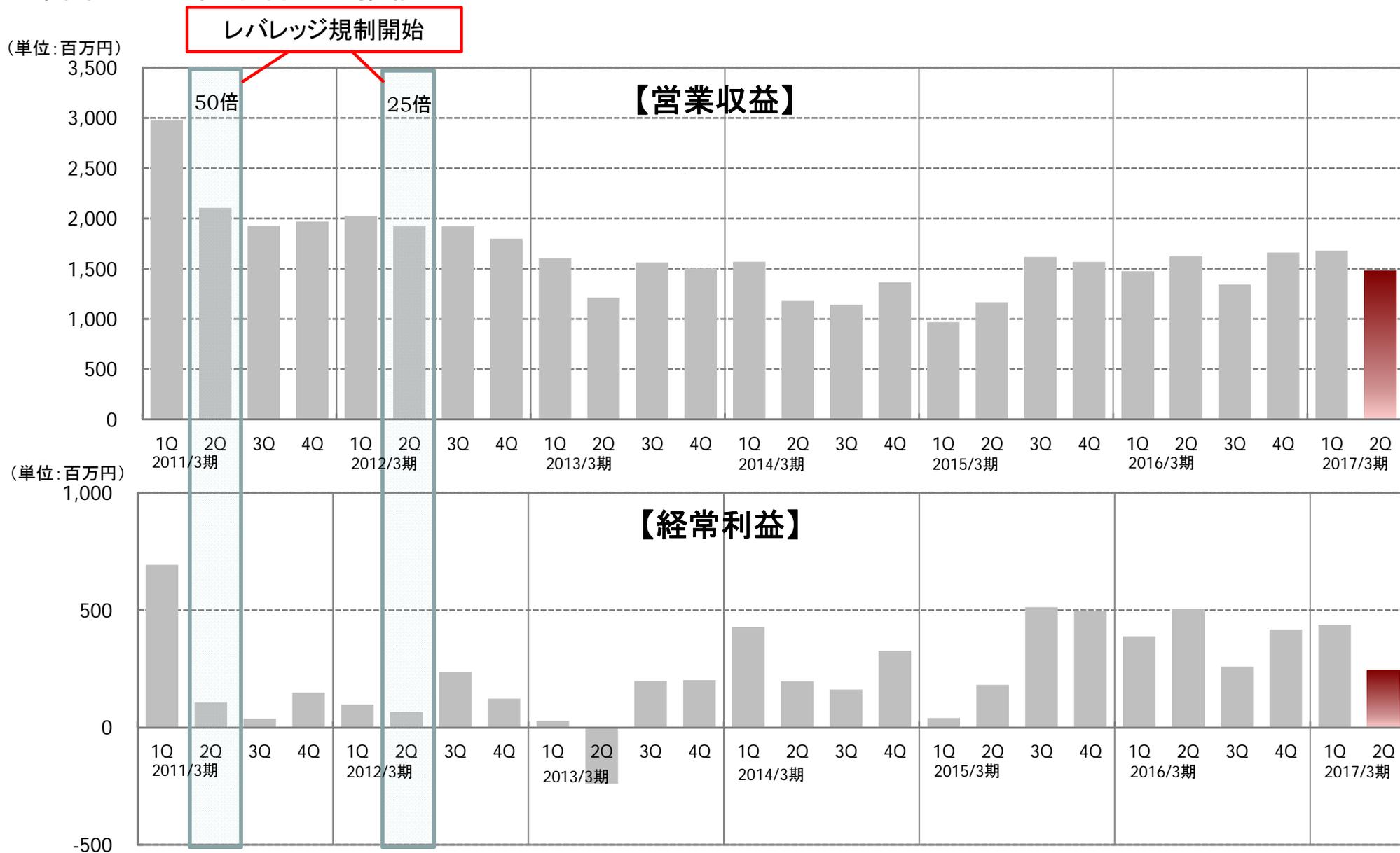
- ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、特段の特別損益もなく、前四半期比46.0%減少の161百万円に。



# レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 営業収益と経常利益の推移





# 2017年3月期第2四半期 決算概況と影響ファクター

Money Partners Group

	2017/3期 1Q 【2016/4 ~ 2016/6】	2017/3期 2Q 【2016/7 ~ 2016/9】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,339億通貨単位	2,199億通貨単位	▲6.0%
営業収益	1,680百万円	1,479百万円	▲12.0%
経常利益	437百万円	245百万円	▲43.9%

## 【損益影響ファクター】

前四半期比

取引高



収益性



販管費



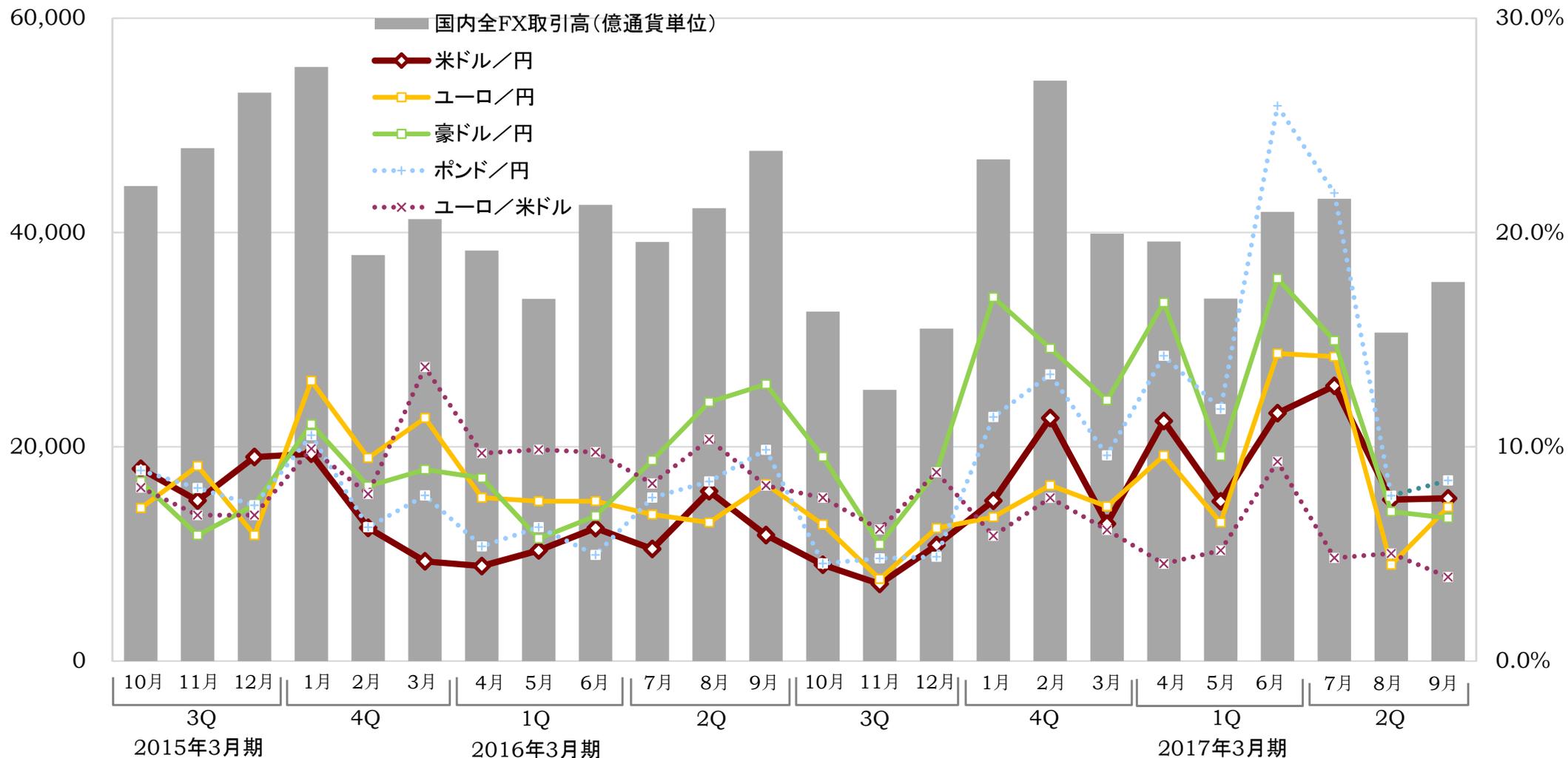
- ・ 8月以降のボラティリティ低下の影響を大きく受けた豪ドル／円、ユーロ／円の取引高は前四半期比大きく減少。  
米ドル／円の取引高は前四半期とほぼ横這いとなったものの、外国為替取引高全体としては前四半期比6.0%の減少に。  
通貨別の内訳では、米ドル／円の割合は前四半期から更に増加し、全体の約65%を占める結果に。
- ・ 豪ドル／円やユーロ／円等相対的に収益性の高い通貨ペアの割合が減少した結果、絶対的には高い収益性を維持するも前四半期比収益性が低下。
- ・ 取引高の減少に伴い変動費を中心に販管費は前四半期比減少。



# FX市場の動向

Money Partners Group

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



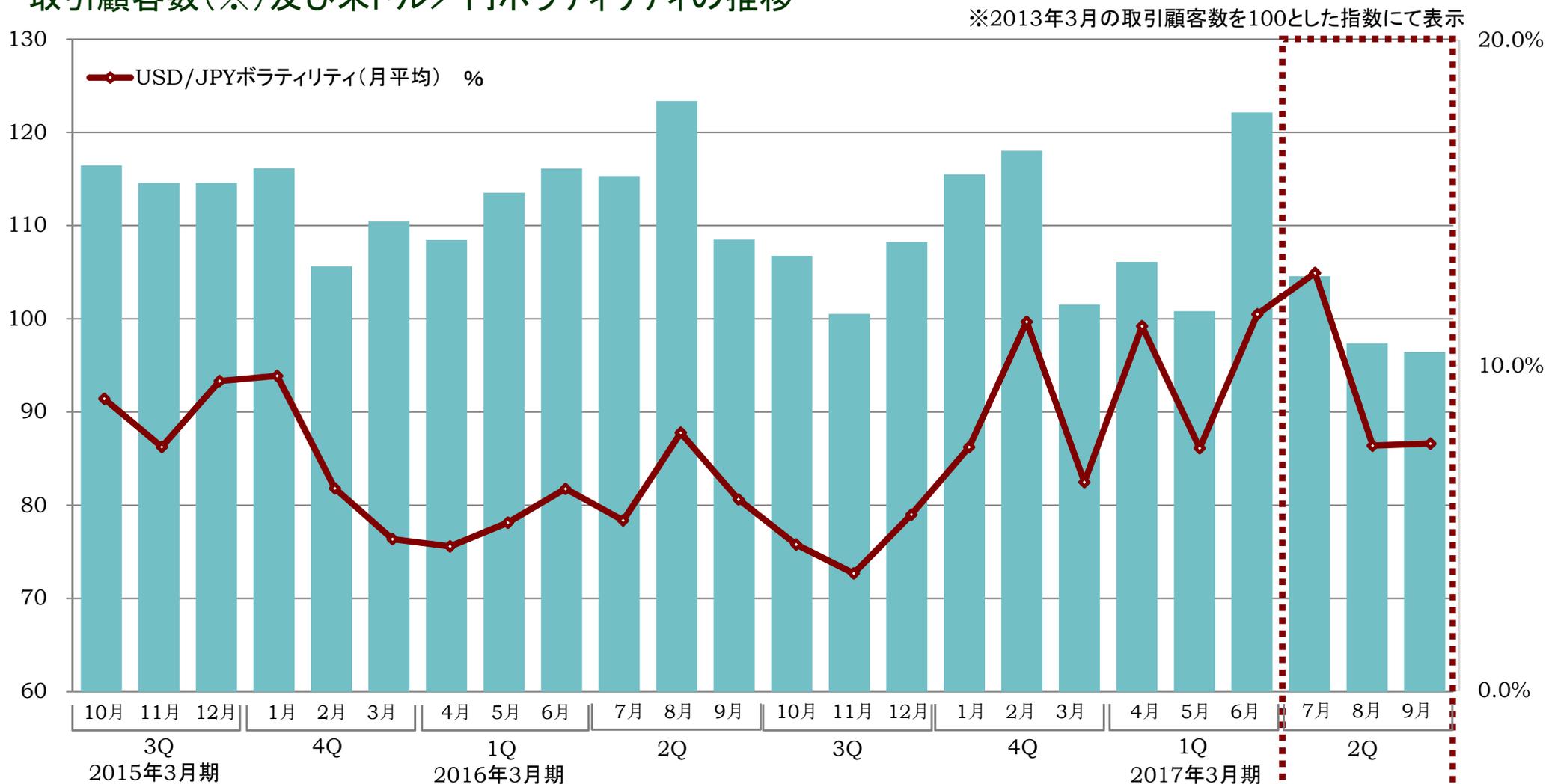
6月の英国のEU離脱を問う国民投票時の外国為替相場変動は7月まで継続。その後、外国為替相場は方向感の乏しい持ち合い相場の様相となりボラティリティは低下。国内FX取引高全体も減少傾向に。



# 取引顧客数の推移

Money Partners Group

## 取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移



円高水準の定着による顧客損益の悪化と外国為替相場の方向感に乏しい動きが投資家の投資意欲に悪影響を及ぼし、特に8月以降は取引顧客数が低調に推移。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位: 百万円

	2015/3期		2016/3期				2017/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,618	1,568	1,471	1,621	1,342	1,661	1,680	<b>1,479</b>	▲12.0%
受入手数料	4	4	5	15	14	19	17	<b>27</b>	56.8%
トレーディング損益	1,601	1,554	1,451	1,586	1,306	1,617	1,639	<b>1,372</b>	▲16.3%
金融収益	3	3	3	3	3	4	2	<b>4</b>	41.9%
その他の売上高	9	6	10	15	18	19	21	<b>75</b>	253.4%
金融費用	18	19	20	23	23	27	36	<b>36</b>	▲0.4%
売上原価	0	0	2	7	10	8	7	<b>53</b>	660.1%
純営業収益	1,599	1,548	1,448	1,590	1,308	1,624	1,637	<b>1,388</b>	▲15.2%
販売費・一般管理費	1,086	1,075	1,067	1,121	1,049	1,209	1,201	<b>1,142</b>	▲4.9%
営業利益	512	473	381	468	258	415	435	<b>246</b>	▲43.5%
経常利益	513	498	389	505	260	418	437	<b>245</b>	▲43.9%
税金等調整前四半期純利益	505	498	389	505	261	406	437	<b>245</b>	▲43.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	325	314	254	334	173	263	299	<b>161</b>	▲46.0%
営業収益経常利益率	31.8%	31.7%	26.5%	31.1%	19.4%	25.2%	26.0%	<b>16.6%</b>	

外国為替取引高の減少に加え、取引高当たり収益性の低下により、トレーディング損益は前四半期比16.3%減少。一方、マネパカードの増加に伴う受入手数料の増加やシステム子会社の売上増加により、営業収益は同12.0%の減少に。営業利益、経常利益、四半期純利益は販管費が4.9%の減少にとどまったことから前四半期40%台半ばの減少。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位: 百万円

	2015/3期		2016/3期				2017/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	311	296	298	333	292	349	299	<b>325</b>	8.7%
人件費	246	245	235	245	239	257	252	<b>266</b>	5.8%
不動産関係費	156	158	156	155	165	181	170	<b>176</b>	3.7%
事務費	249	244	243	256	228	281	309	<b>235</b>	▲23.9%
減価償却費	95	96	91	89	89	99	98	<b>93</b>	▲4.8%
租税公課	17	21	21	24	23	30	33	<b>30</b>	▲6.5%
貸倒引当金繰入れ	—	—	0	6	▲0	▲0	0	<b>▲0</b>	—
その他	10	13	20	10	12	10	38	<b>13</b>	▲65.5%
販売費・一般管理費合計	1,086	1,075	1,067	1,121	1,049	1,209	1,201	<b>1,142</b>	▲4.9%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	132	118	122	141	106	105	106	<b>122</b>	15.5%
システム関連費用(※2)	332	330	319	343	318	385	396	<b>335</b>	▲15.5%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

### <主な増減要因>

取引関係費(増加): 新規顧客獲得のための広告宣伝費の増加

人件費(増加): 従業員数の増加(2016/3末92人→2016/9末100人)、役員株式給付引当金(6ヶ月分)の計上

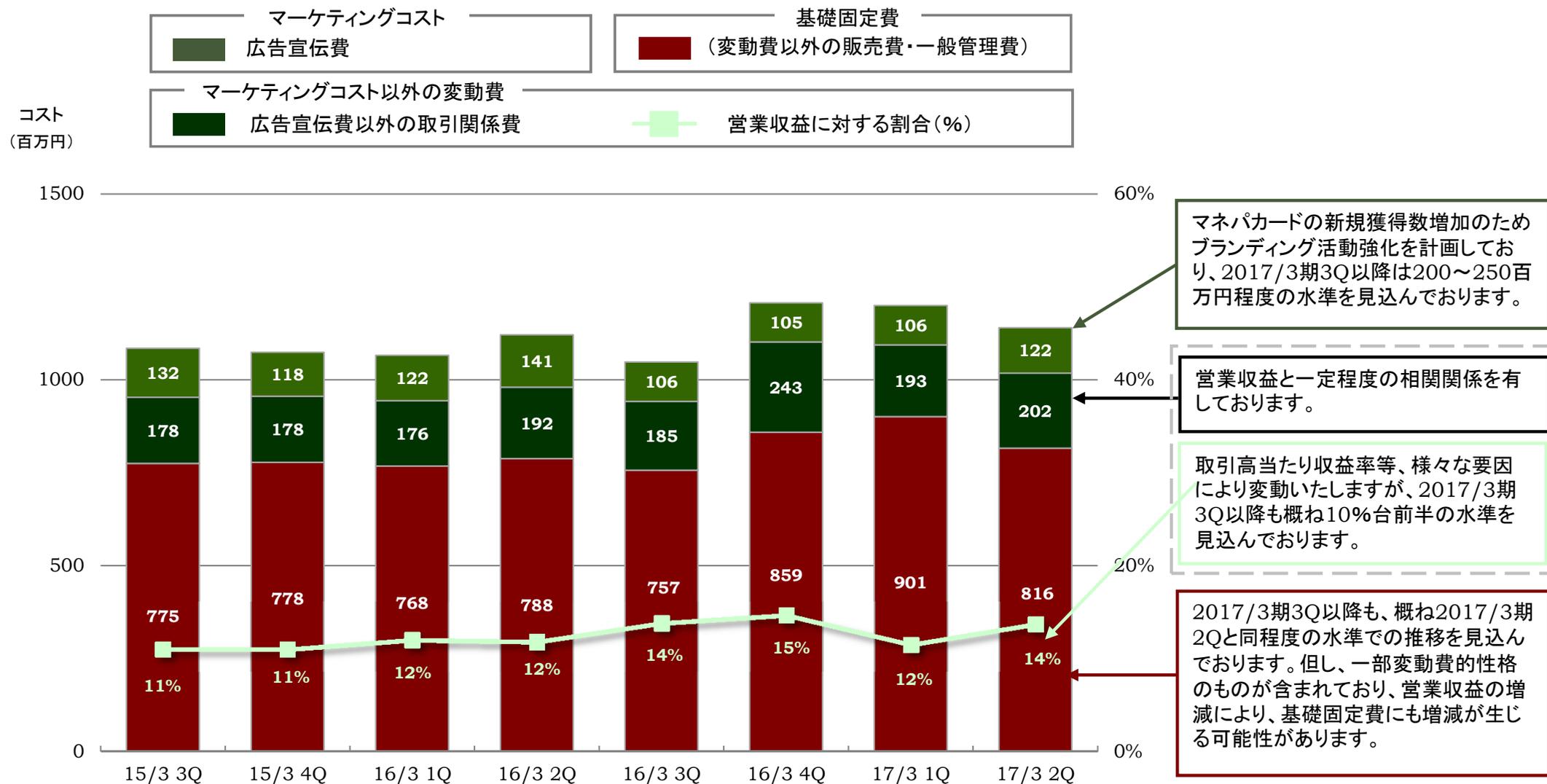
事務費(減少): 変動費の減少、一時費用(基幹システム更新の検討)の消滅



# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



マネパカードの新規獲得数増加のためブランディング活動強化を計画しており、2017/3期3Q以降は200~250百万円程度の水準を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、2017/3期3Q以降も概ね10%台前半の水準を見込んでおります。

2017/3期3Q以降も、概ね2017/3期2Qと同程度の水準での推移を見込んでおります。但し、一部変動費的性格のものが含まれており、営業収益の増減により、基礎固定費にも増減が生じる可能性があります。

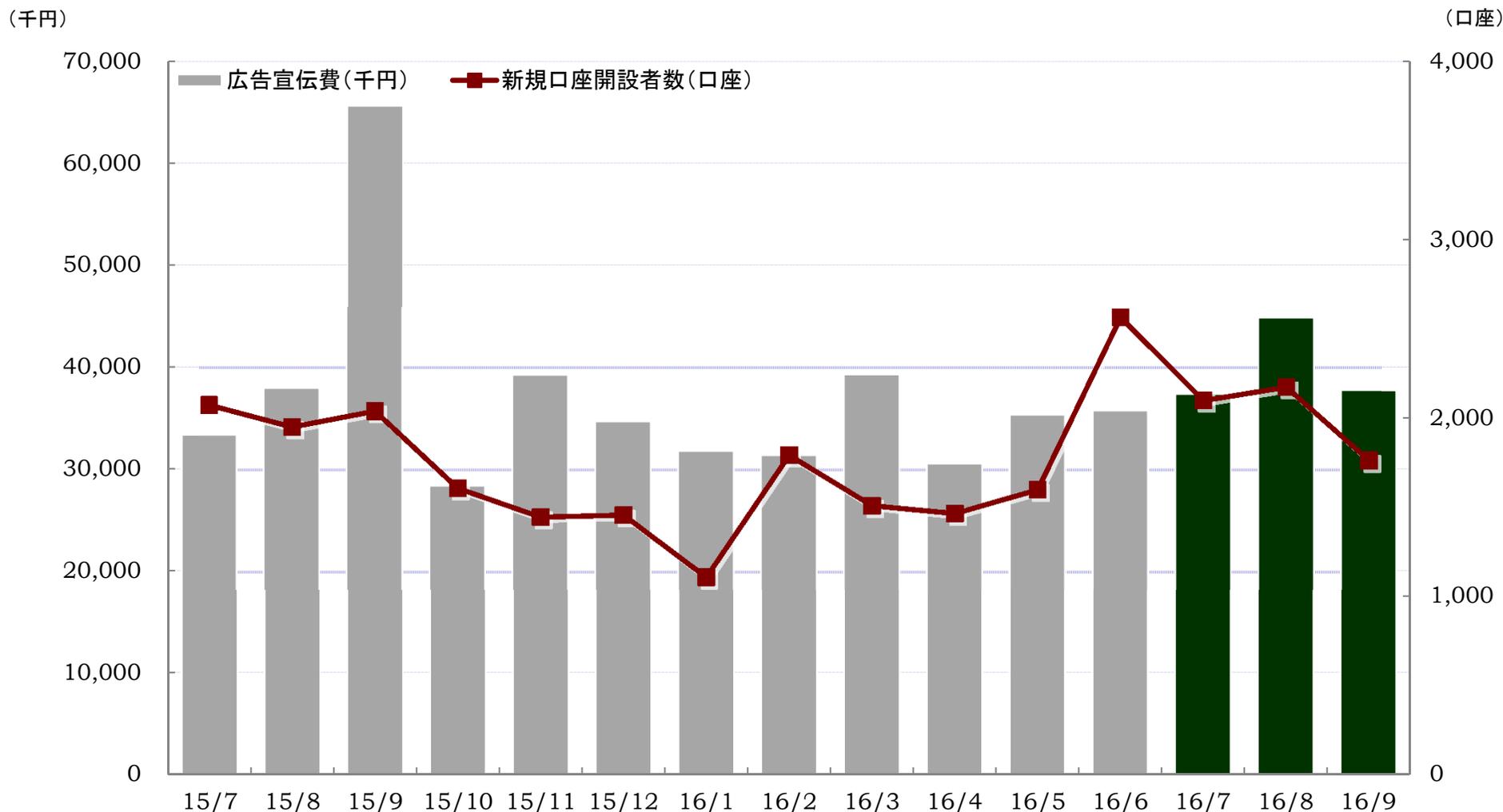
2017年3月期第3四半期以降、マネパカードの増加ペースの拡大を計画しており、当面マーケティングコストの大幅な増加を見込んでおります。(マネパカードの増加に伴う固定費の増加は微増にとどまる見込み)



# 月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

## ■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



2016年6月の外国為替相場の変動もあって増加した新規口座開設者は、当四半期においても堅調な水準を維持。一方、広告宣伝費の内訳はFXからマネパカードに徐々にシフト。



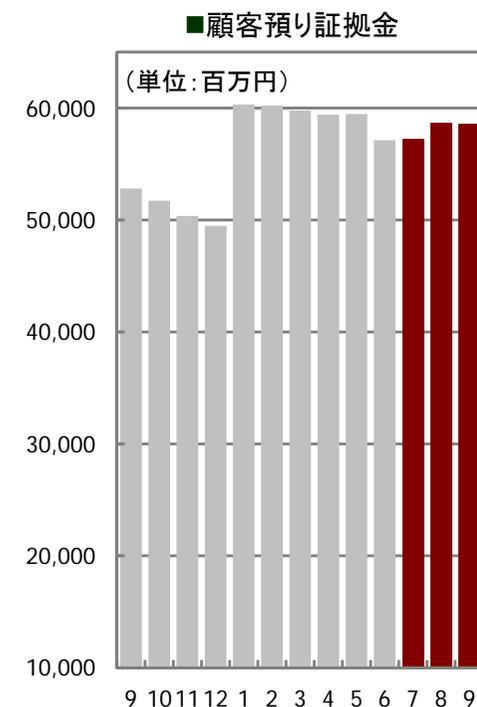
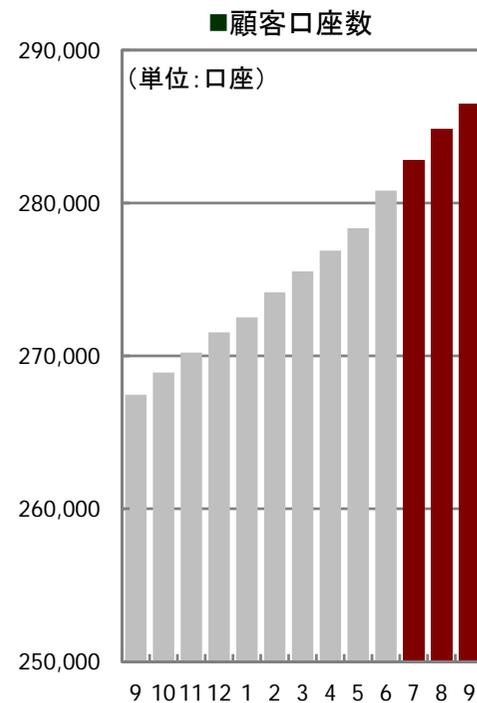
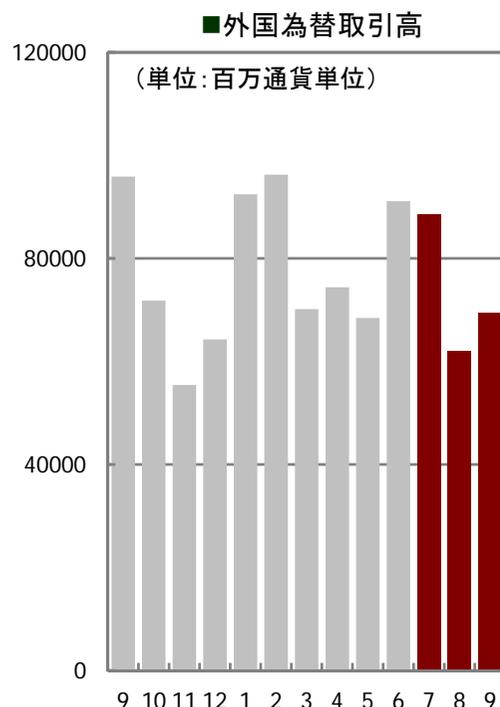
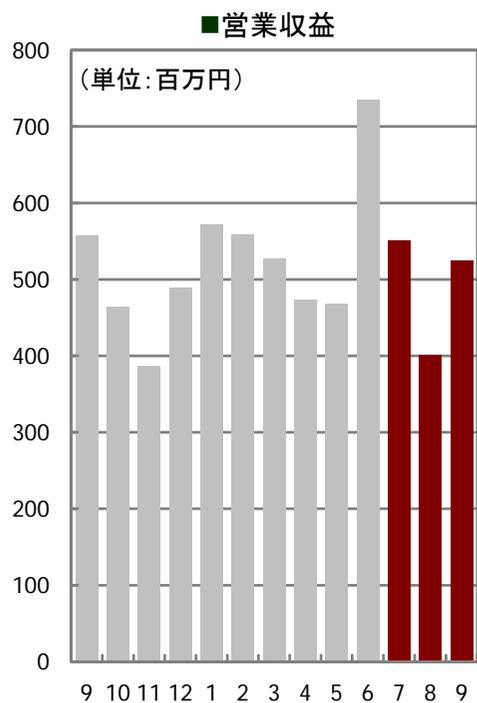
# 月次業績指標推移

Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2015年				2016年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	552	464	387	490	572	559	528	473	468	738	551	401	525
外国為替取引高 (百万通貨単位)	95,887	71,822	55,460	64,288	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423
顧客口座数(口座)	267,463	268,916	270,219	271,544	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494
顧客預り証拠金(百万円)	52,815	51,725	50,355	49,480	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608
内、BtoB先金融法人	(金額僅少につき記載を省略しております)				11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



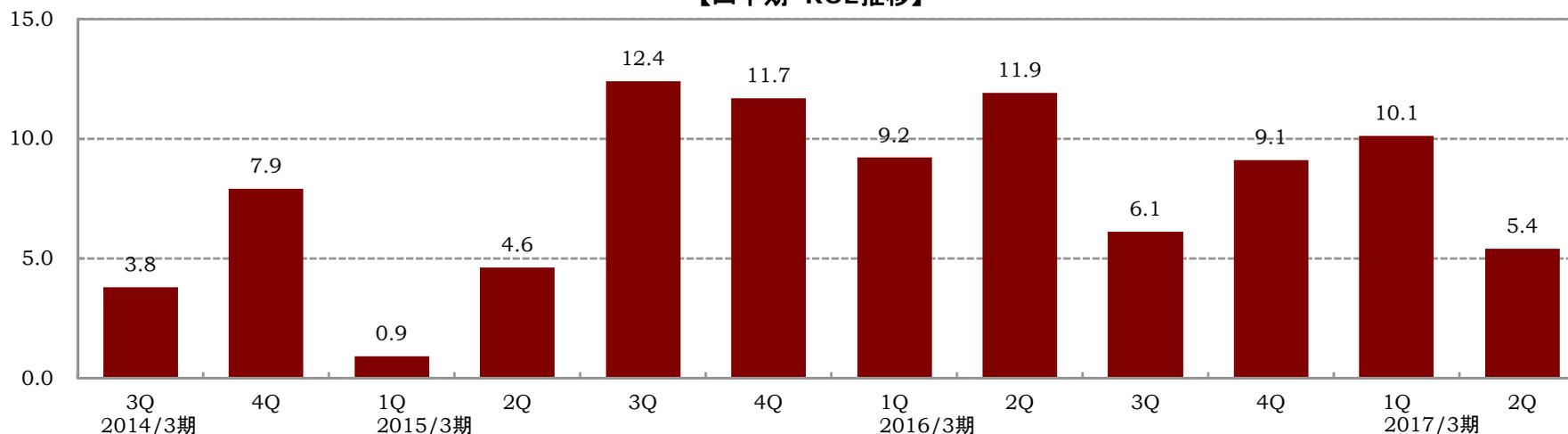


# 主要経営指標推移

Money Partners Group

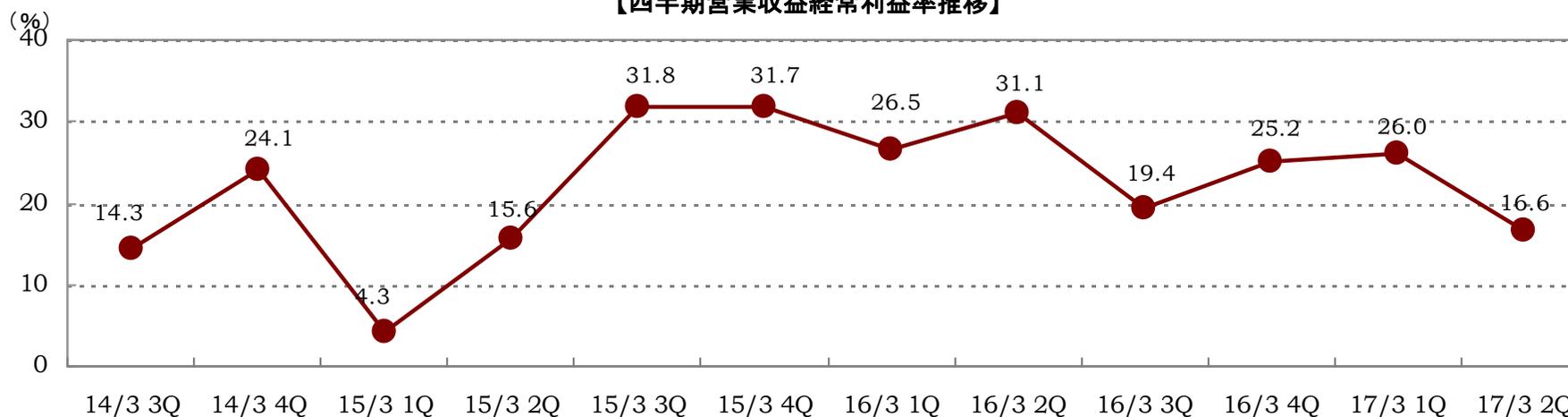
## ■ ROE及び営業収益経常利益率推移

### 【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

### 【四半期営業収益経常利益率推移】



## Ⅱ.2017年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況





# 当社グループの重点施策

Money Partners Group

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

新たなビジネス・  
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

# 実需

## 顧客サービス

## 収益

★ 収益性の継続的改善

★ 顧客向けサービスの改善

★ 新注文・新サービス・新機能の提供

★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み

★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み



# 重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

マネパカード

### 国内利用サービス開始に伴うキャンペーン強化



マネパカード新規入会キャンペーン  
開設日から最大2か月  
国内還元率一律 **2%**



国内利用で  
キャッシュバック!  
9/30まで  
**2%還元**  
国内ショッピング最大

国内利用について、既存・新規顧客に対して利用額の最大2%をキャッシュバック

海外利用での格安コスト・高利便性に加え、国内利用でもお得なカードに

外貨実需顧客層拡大のための主力商品として新規顧客獲得強化



## 重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

### ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

#### FX

#### PC・タブレット向け取引ツール 「クイック発注ボード」に新機能を追加

新機能追加しました！  
**クイック  
発注ボード**

- ✓インストール要らずですぐ取引
- ✓1画面に集約されたレイアウト

- ・チャートから右クリックで指値／逆指値注文が発注できます
- ・チャート上に注文ラインが表示できます
- ・チャートにトレンドラインが引けます
- ・選択通貨ペアの並び順変更、表示／非表示切り替えができます
- ・決済注文の確認が簡単に行えます
- ・200日移動平均線などが引けます
- ・注文数量の増減単位が変更できます

顧客利便性・分かり易さの向上

#### ビットコイン

#### (社)仮想通貨ビジネス勉強会

正会員として仮想通貨に関する法務、会計、税務、技術等広範な課題についての検討に積極的に参加。

#### Payward Inc.との転換貸付契約

株式への転換は引き続きPayward社の資本調達のタイミング待ち。

#### テックビューロ(株)との業務提携契約

連携サービスの提供に向けて準備中。  
年内目途を計画していたサービス開始は来春にずれ込む見込み。

自社グループ取扱いに向けての準備

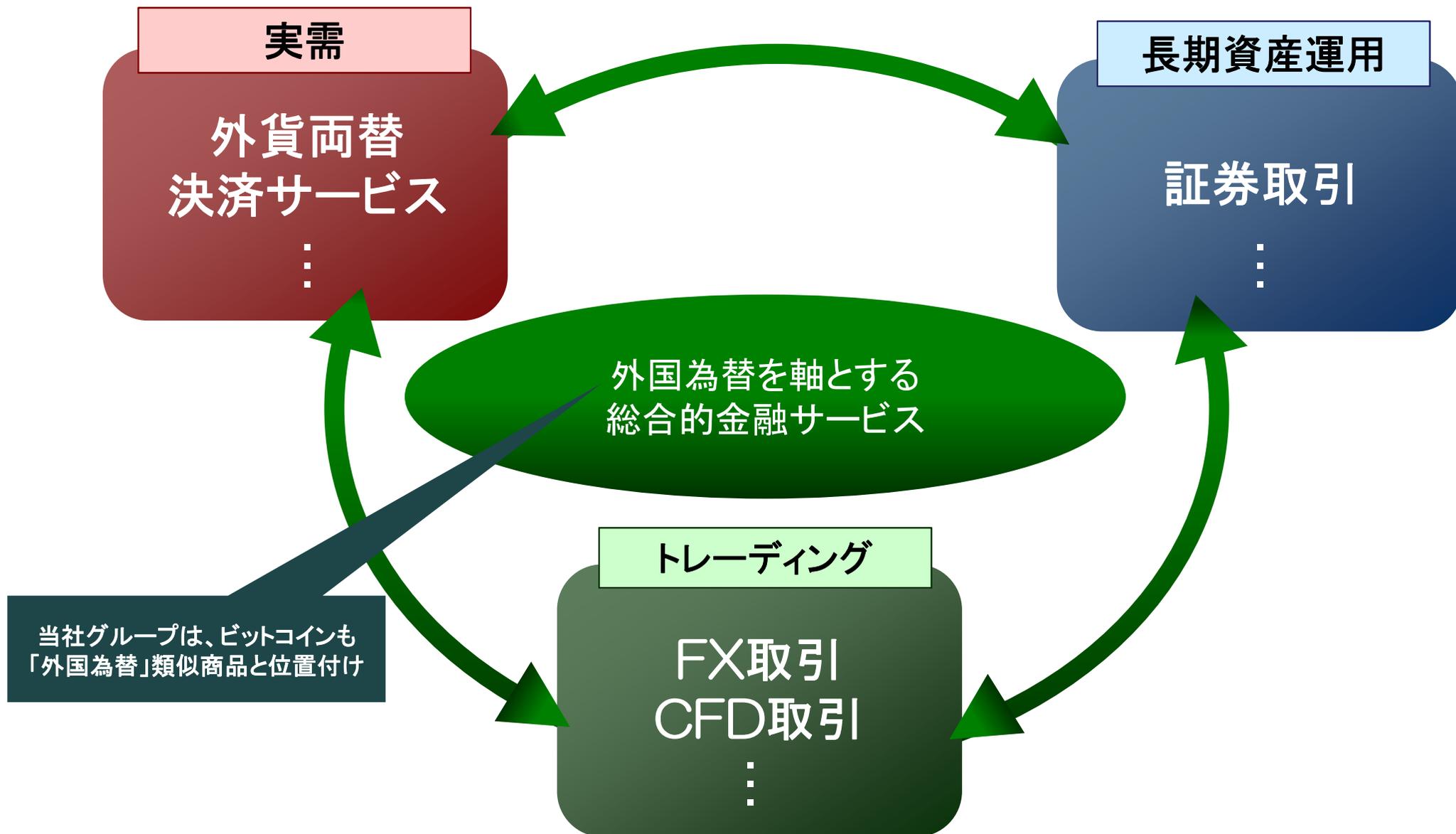
### Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





# 中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築

Money Partners Group



## IV. 当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2017年3月期第2四半期(2016年7~9月)のROEは5.4%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
$$\text{ROE(年換算)} = (\text{四半期純利益} \times 4) \div ((\text{四半期期首自己資本} + \text{四半期期末自己資本}) \div 2) \times 100$$

▶ **2017年3月期第2四半期(2016年7~9月)の営業収益経常利益率は16.6%**



# 株主還元について

Money Partners Group

## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 配当方針

配当性向 …… 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 …… **中間及び期末** (年2回)

		2016年3月期				2017年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	上段:3ヶ月	254	334	173	263	299	161		
	下段:累計	254	588	761	1,025	299	460		
配当金の総額 (百万円)		168		169		130			
期末発行済 株式総数(株)		32,616,900 (内、自己株式2,002,300)		32,795,900 (内、自己株式2,002,300)		33,763,500 (内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	5.5円		5.5円		4.0円			
	年間	11円							



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の1%以上の額で、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会  
一般社団法人日本資金決済業協会

# 2017年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ